

和井内神社は 1908 年に建立され、当時の名前は「勝漁神社」でした。1933 年、十和田湖でヒメマスの養殖に成功した和井内貞行（1858 年～1922 年）の功績を讃えるため、現在の名前が付けられたのです。和井内は妻のカツとともにここで祀られています。二人が果たした十和田地域への貴重な貢献を祝し、年に 2 度、祭りが開かれています。春の例祭は 5 月 3 日（カツの命日）、秋の例祭は 9 月 21 日（貞行の命日）です。

* 本殿への立ち入りには許可が必要です